I·O DATA

はじめにお読みください

DVD-RAM/R 取扱説明書

DVDRR-AB4.7

98805-02

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
6) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
7) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
8) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
9) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
10) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
12) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
13) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
14) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windows,Windows NTは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いいたします。

本製品はATAPI内蔵型のDVD-RAM/Rドライブです。
本製品をお使いになれば、DVD-RAMディスクやDVD-Rディスクにデータを記録できます。また、添付の「PowerDVD」を使えば、DVDビデオを見ることもできます。

用途別INDEX

ー ドライブをセットアップしたい（取り付け、インストール）

☞ 【使う準備をする】（9ページ～）をご覧ください。

ー DVD-RAMディスクをフォーマットしたい

☞ 【●DVD-RAMディスクをフォーマットする】（23ページ～）をご覧ください。

ー ディスクにデータを記録したい

☞ 【●ディスクにデータを書き込む】（25ページ～）をご覧ください。

ー DVDビデオを見たい

☞ 【DVDビデオを見る】（33ページ～）をご覧ください。

ー オリジナルDVDビデオを作りたい

☞ 【オリジナルDVDビデオを作る】（37ページ～）をご覧ください。

ー 使っていてトラブルが起こった

☞ 【困った時には】（40ページ～）をご覧ください。

☞ 【問い合わせ先】（50ページ～）をご覧ください。



【DVD-RAMとDVD-Rの違い】

以下の表のような違いがあります。

○：可　－：不可　△：対応しているDVD-ROMドライブは可

	DVD-RAM	DVD-R
再書き込み	○	―
DVD-ROMドライブでの読み込み	△	○
DVD再生機器での読み込み	―	○

呼び方

本製品	ドライブを含む添付品すべての総称
ディスク	DVD-RAMディスク、DVD-Rディスク、DVD-ROMディスク、CD-ROMディスクの総称
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional Edition Operating System、Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating Systemの総称
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating System、Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating Systemの総称
Windows Me/98	Windows Me、Windows 98の総称
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows	Windows XP、Windows Me/98、Windows 2000の総称

使用しているアイコン

	《注意》 注意してほしい事項を記述しています。必ずお守りください。
	《コラム》 用語解説や本製品を使う上で役に立つ情報を記述しています。
	《参照》 参照先のページを表記しています。

もくじ

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ i
もくじ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ iv
必ずお守りください・・・・・・・・・・・・・・・・・・ vi

本製品を使うまでの手順

以下の流れにしたがって、本製品を使う環境をつくりましょう。
“☺”を読めば本製品を使うことができます。

【はじめにすること】
**使う前に・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

必要なときに読むところ

使用中にトラブルがあったときの解決法や本製品の付属情報です。

付録 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39

困った時には ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・40
別売オプション品 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・48
仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・49

お問い合わせ先 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50

B's Recorder GOLD for Windows ・・・・・・・・・・ 50
PowerDVD・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51
Ulead MediaStudioPro 6 VE,GoDVD!,
PhotoImpactSE,COOL3D SE ・・ 52
DVD-RAM/Rドライブ ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53
サポートソフトのバージョンアップ・・・・・・・・・ 54
修理について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 55

コラム

コラムのもくじ

DVD-RAMとDVD-Rの違い ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

This product is for use only in Japan.　We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.

■警告及び注意事項

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味



この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例）「発火注意」を表す絵表示



この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例）「分解禁止」を表す絵表示



この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例）「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告


厳守

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。


電源プラグを抜く

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。


分解禁止

本製品を修理・改造・分解しないでください。

火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
修理は弊社修理係にご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有償修理となる場合があります。


発火注意

本製品を取り付ける場合は、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

- 接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因になります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因になります。


厳守

本製品の取り付け/取り外しの際は、必ず本書で取り付け/取り外し方法をご確認ください。

間違った操作を行うと火災・感電・動作不良の原因となります。


禁止

本体を濡らしたり、お風呂場では使用しないでください。

火災・感電の原因となります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。


禁止

内部のレーザー光線を直視すると視覚障害を起こす恐れがあります。内部をのぞきこまないでください。

⚠ 注意

注意

本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。

故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。

禁止

本製品は以下のような場所で保管・使用しないでください。

故障の原因になることがあります。

《使用時/保管時の制限》

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- ●静電気の影響の強い場所

《使用時のみの制限》

- ●保温、保湿性の高いものの近く（じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど）
- ●製品に通気孔がある場合は、通気孔がふさがるような場所

禁止

本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。

- ●落としたり、衝撃を加えない
- ●製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●本製品のそばで飲食・喫煙などをしない

禁止

アクセスランプ点灯中に電源を切ったり、パソコンをリセットしないでください。

故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。

注意

本製品（ソフトウェア含む）は、日本国内仕様です。

本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、およびアフターサービスなどを行っておりません。あらかじめ、ご了承ください。

厳守

本体内部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。

厳守

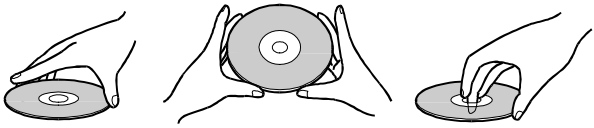
本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。

- ●洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
- ●ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。
- ●市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因となります。

厳守

ディスクの取り扱いについては以下をお守りください。

- ●ディスクを直接持つときは光沢のある場所に触らないようにしてください。両端をはさむようにして持つか、中央の穴と端をはさんでください。



- ●正しい再生をするためと、振動や回転音が大きくなるなどのトラブルを防ぐため、ディスクに紙やシールなどを貼らないでください。
- ●ひびの入ったディスクや反ってしまったディスクは絶対に使用しないでください。また、割れたディスクをテープ類や接着剤で貼りあわせて使用しないでください。高速回転しますので、欠陥のあるディスクは危険です。



- ●ディスクに異物（ディスクの仕切りなど）が付いていないことを十分ご確認の上、ドライブに挿入してください。異物が付いたまま挿入すると、故障の原因になります。

本製品は情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づく製品です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

使用上のご注意

ソフトウェアをご使用になる前に「README.TXT」を必ずご覧ください。

●使用する際の注意

■本製品を接続する際は、必ずパソコンの電源を切ってください。

■ケーブルを抜くときは、ケーブル部分を引っ張らないで、コネクタを持って抜いてください。

●本製品添付のライティングソフトウェアについて

■本製品以外での使用は保証できません。また、本製品で他のライティングソフトを使用して万一障害が発生した場合は弊社ではサポートいたしかねます。ご使用のライティングソフトメーカーにお問い合わせください。

■書き込みに失敗したディスクの保証は致しておりません。
本製品添付のディスクでお試しの上、ご使用ください。

●リージョン（地域）番号について

■お使いになる前に、リージョン番号を「２」に設定する必要があります。
設定方法については19ページをご覧ください。

コラム

【リージョン（地域）番号】

DVDビデオの再生可能地域を限定するために決められた地域別番号です。
世界を6つの地域に分割し、日本は“2”のリージョン番号が割り当てられています。DVD-ROMドライブ、DVDビデオディスク、DVD再生ソフトのリージョンコードが一致しないと再生できない仕様になっています。

使う前に

ここでは、本製品を使う前の作業について、順を追って説明しています。

箱の中の確認

内容物リストです。

2ページ

▼

各部のなまえ

各部のなまえを確認します。

5ページ

▼

動作環境の確認

本製品を使うときに必要なパソコンの種類です。

6ページ

箱の中の確認

ご使用の前に以下のものがそろっていることをご確認ください。

（☐ にチェックをつけましょう）

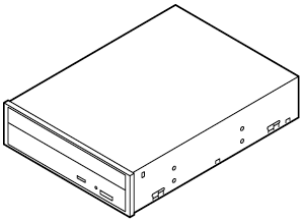
万一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお知らせください。

注意

・箱・梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にご利用ください。
・イラストは若干異なる場合があります。

●内容物

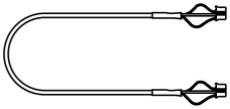
☐ **DVD-RAM/Rドライブ（1台）**



☐ **取り付けネジ（4本）**



☐ **オーディオケーブル**
（1本：アナログ用）



☐ **DVD-Rディスク**
（1枚：4.7Gバイト）



●添付ソフトウェア

☐ **CD/DVD Proツールズ**
コレクション（CD-ROM：1枚）



▼内容

・B's Recorder GOLD for Windows
（DVD-Rディスク用ライティングソフト）

・PowerDVD VR-X
（DVDビデオ再生ソフト）

・PhotoImpact SE
（静止画編集ソフト）

・COOL3D SE
（3Dタイトル作成ソフト）

・DVD-MovieAlbum SE
（DVD-RAMディスク用DVDビデオ作成、
編集ソフト）

・デバイスドライバ
（DVD-RAM/Rドライブを使用できるように
するためのソフト）

☐ **DVD Proツールズ**
コレクション（CD-ROM：1枚）



▼内容

・Ulead MediaStudioPro 6 VE + GO DVD!
（DVD-Rディスク用DVDビデオ作成、
編集ソフト + DVDビデオオーサリング・
ライティングソフト）

●その他

- ☑ DVD-RAM/R取扱説明書（本書）
- ☐ クイックリファレンス「DVDで映画を観よう」（1冊）
- ☐ ハードウェア保証書（1枚）
- ☐ ハードウェアシリアルNo.シール（1枚）
- ☐ ユーザー登録カード（1枚）
- ☐ 著作権について（1枚）
- ☐ B's Recorder GOLD クイックガイド（1冊）
- ☐ B's Recorder GOLD for Windows 補足マニュアル（1冊）
- ☐ B's Recorder GOLD「ユーザー登録ハガキ」（1枚）

  →「B's Recorder GOLD」のシリアル番号が印字されています。
  本製品のシリアルNo.とは異なります。

- ☐ MediaStudio Pro取扱説明書（1冊）
- ☐ Ulead製品「ユーザー登録ハガキ」（1枚）

  →Ulead製品のシリアル番号が印字されています。
  本製品のシリアルNo.とは異なります。

注意

・「B's Recorder GOLD ユーザー登録ハガキ」「Ulead製品 ユーザー登録ハガキ」のお客様控えは大切に保管してください。
各ソフトウェアをインストールするときに必要なシリアル番号が印字されています。

・本書は大切に保管してください。
「PowerDVD」をインストールするときに必要なシリアル番号を記述しています。 本書表紙

ユーザー登録は済ませましたか？
「ユーザー登録カード」に登録方法が記述されています。
登録してから、次ページへ進みましょう！

各部のなまえ

各部の名称および機能の確認を行います。

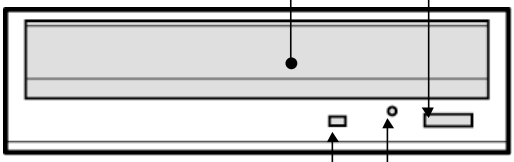
●前面

トレイ

ディスクを入れるところです。

イジェクトボタン

トレイの出し入れを行います。



BUSYランプ

ディスク非挿入時→消灯
ディスク挿入時→常時緑色に点灯
アクセス時→橙色と緑色で点滅(消灯なし)

緊急イジェクトホール

ディスクが取り出せなくなった場合に使用します。（43ページ参照）

注意

BUSYランプの点灯・点滅中は、パソコンをリセットしたり、電源を切ったりしないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。

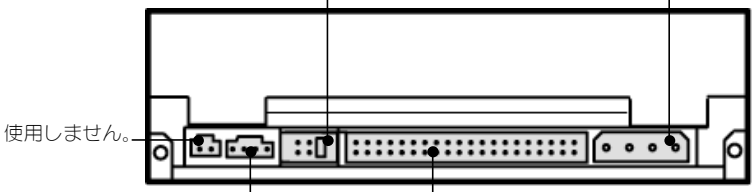
●背面

スイッチ

IDE機器の接続状況により設定を行います。（10ページ参照）

電源コネクタ

パソコンの電源ケーブルを接続します。



オーディオコネクタ(アナログ)

添付のオーディオケーブルを使用してパソコン本体やサウンドカードと接続します。機種や環境によっては使用しない場合があります。

IDEコネクタ

パソコンのIDEコネクタと接続するためのケーブルを接続します。

動作環境の確認

本製品をお使いになるためには、お使いのパソコンが以下の機種やOSである必要があります。対応していることをご確認ください。

● 対応機種・OS

対応機種※1	対応OS（日本語版に限る）
NEC PC98-NXシリーズ	Windows XP
DOS/Vマシン※2 弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認を行っております。	Windows Me Windows 98 Second Edition Windows 98 Windows 2000

※1 Ulead MediaStudioPro 6 VEを使用する場合は、Pentium Ⅱ 300MHz以上を推奨します。
DVD MovieAlbum SEを使用する場合は、PentiumⅢ 450MHz以上、Celeron 633MHz以上を推奨します。
※2 IBM製 Aptiva E21,E31,E17,E27,E47,E2J,E3Jシリーズを除く。

注意

・本製品は5インチベイ（拡張ストレージベイ）搭載タイプです。ファイルベイに空きが無い場合は、あらかじめ搭載済みのドライブを取り外す必要があります。
・取り付け後、フロントパネルが操作可能な機種でご使用いただけます。

● DVDビデオ再生環境

下記のPowerDVD VR-Xの動作環境に対応した機種であること

対応OS※	搭載CPU
Windows Me Windows 98 Second Edition Windows 98	Intel Pentium Ⅱ 300MHz以上 Intel Celeron 300A以上 AMD K6-2 400MHz以上
Windows XP Windows 2000	Intel Pentium Ⅱ 400MHz以上 Intel Celeron 433MHz以上

注意

「PowerDVD」はサービス品です。弊社ではサポート致しかねます。
「PowerDVD」のお問い合わせは51ページをご覧ください。

● ハードディスク

空き容量4.7Gバイト以上

● メモリ

64Mバイト以上

● 対応ディスク

・読み込み/書き込み可能なディスク

ディスク	備考
DVD-RAM	4.7/9.4Gバイト Type1,2,4
DVD-R	4.7Gバイト forGeneral Ver2.0 （読み込みのみ：3.95、4.7Gバイト for Authoring）

・読み込みのみ可能なディスク

ディスク	備考
DVD-ROM	—
DVDビデオ	添付の「PowerDVD」をお使いください。
CD-ROM	—
ビデオCD CD-DA（音楽CD）	添付の「PowerDVD」をお使いください。
Photo CD	対応したソフトウェアが別途必要です。
CD Extra	—

注意

縦置き時は12cmディスクのみ使用できます。

●推奨ディスクメーカー

DVD-RAMディスク	Panasonic、Maxell
DVD-Rディスク	Panasonic、Maxell

注意

推奨以外のディスクを使用した場合、正常に書き込めないことがあります。

MEMO

使う準備をする

本製品を使えるようにするには、以下の作業が必要になります。手順にしたがって準備しましょう。

1．スイッチを設定する

本製品をつなげる前に、DVD-RAM/Rドライブのスイッチを設定してください。

10ページ

▼

2．つなぐ

DVD-RAM/Rドライブをパソコンとつないでください。

13ページ

▼

3．インストール

お使いのパソコンで、DVD-RAMディスクを使用できるようにするためのドライバをインストールします。

17ページ

▼

4．基本操作をおぼえる

ディスクの入れ方/出し方、DVD-RAMディスクのフォーマット方法などをおぼえてください。

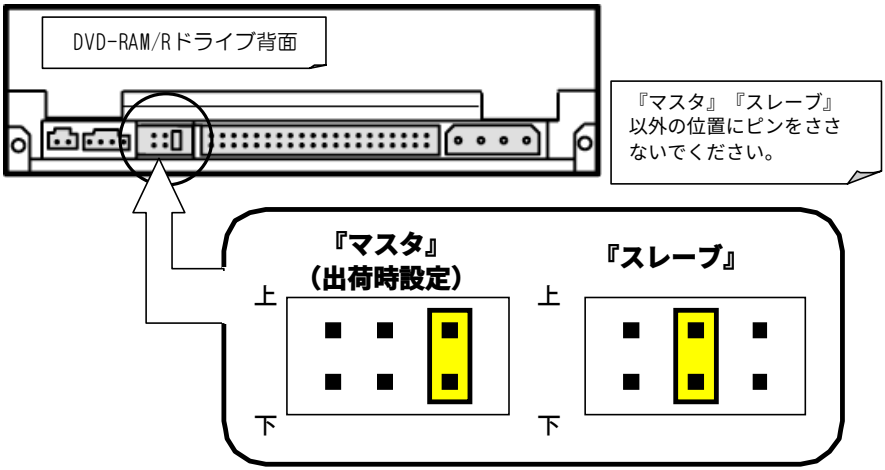
21ページ

1．スイッチを設定する

本製品をつなげる前にスイッチを設定する必要があります。
ここでは、お使いの環境に合わせてスイッチを設定します。

●スイッチを設定する

本製品を『マスタ』（出荷時設定）または『スレーブ』のどちらかに設定します。【IDEの基礎知識】（次ページ）をご覧になり、本製品を取り付ける場所を決めてから、下記の通り設定してください。



注意

PC98-NXシリーズをご使用の場合のご注意
セカンダリスレーブに接続するとパソコンが正常に起動しない場合がありますので、本製品をプライマリスレーブまたはセカンダリマスタで使用してください。

設定後、13ページへお進みください。

コラム

IDEの基礎知識

●本製品はIDE機器としてパソコン本体に接続します。

“パソコンに接続できるIDE機器は最大4台まで”

・パソコン本体には、以下の2つのコネクタがあります。

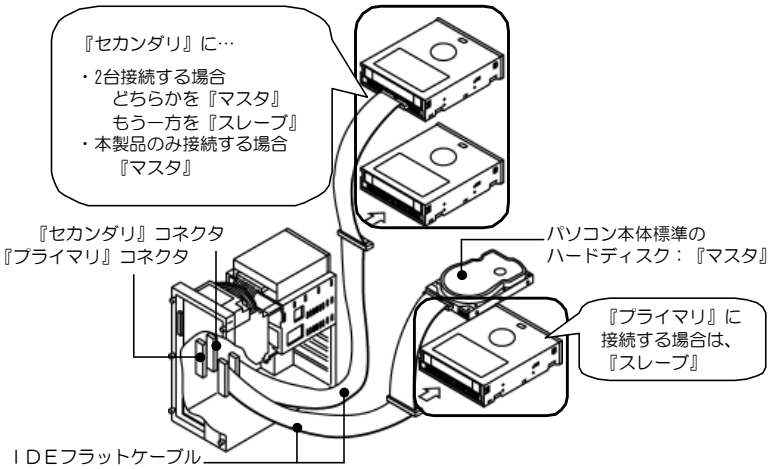
『プライマリ』（PRIMARY） →IDE1の場合があります。
『セカンダリ』（SECONDARY） →IDE2の場合があります。

・『プライマリ』『セカンダリ』のそれぞれに、IDEフラットケーブル（次ページ参照）を使用して、以下の２台ずつ、計４台までのIDE機器を接続することができます。

『マスタ』（MASTER）
『スレーブ』（SLAVE）

●接続例

一般的なパソコンでの接続例です。
空いているコネクタに接続するか、すでにお使いのCD-ROMドライブなどと交換してください。





●IDEフラットケーブルについて

IDEフラットケーブルには、

- 1ドライブ用（IDE機器1台接続）
- 2ドライブ用（IDE機器2台接続）

があります。

パソコン本体に付属のIDEフラットケーブルが短い場合や、1ドライブ用から2ドライブ用に変更したい場合は、弊社オプションケーブルをご購入ください。

（オプションケーブルについては、48ページ参照）

2. つなぐ

本製品をパソコンにつなぎます。

注意

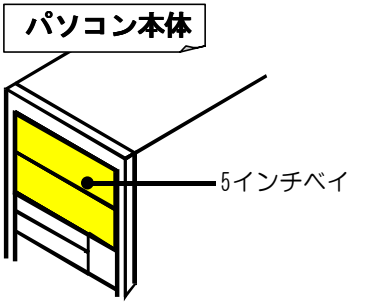
本製品をパソコンにつなぐ前に、スイッチの設定をご確認ください。
（☞ 10ページ）

●取り付ける

1 パソコンの周辺機器および本体の電源を切り、パソコンの電源ケーブルをコンセントから抜きます。

2 5インチベイのカバーを外し、本製品を挿入します。

取り外し方法はパソコンの取扱説明書をご覧ください。



※入れる場所は機種により異なります。詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

3 パソコンのルーフカバーを外します。

取り外し方法はパソコンの取扱説明書をご覧ください。

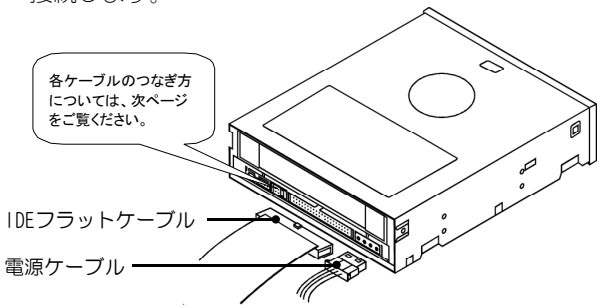
4 各ケーブルを接続します。

●IDEフラットケーブル

パソコン本体から出ているIDEフラットケーブルを、本製品のIDEコネクタに接続します。プライマリ（1系列目）またはセカンダリ（2系列目）を十分確認し、接続してください。

●電源ケーブル

パソコン本体から出ている電源ケーブルを本製品の電源コネクタに接続します。



コラム

【本製品で音楽CDを聞く方法】

・デジタルオーディオ機能を使用します。（デジタル再生）

詳しくは、45ページのコラムをご覧ください。

・サウンドボードなどに接続します。（アナログ再生）

添付のオーディオケーブルをご用意ください。（お使いのサウンドボードやパソコンのオーディオコネクタの形状に合ったものをご使用ください。）

PC98-NXシリーズの場合、オーディオケーブルはパソコン本体に付属のものをお使いください。すでにお使いのCD-ROMドライブなどと本製品を併用する場合、オーディオケーブルは、すでにお使いのCD-ROMドライブか本製品のどちらか一方の接続となります。

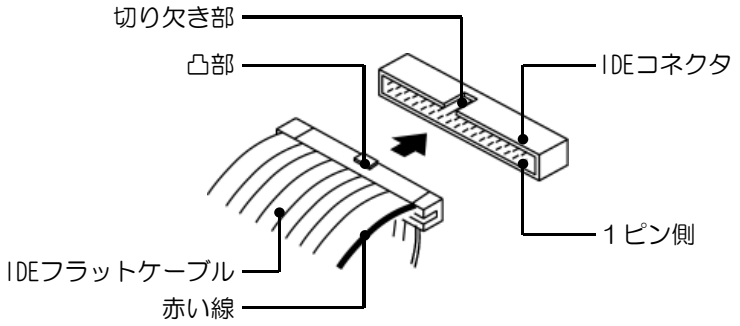
添付のオーディオケーブルで、本製品背面のオーディオコネクタとサウンドボードの「CD IN」コネクタまたはパソコン本体のオーディオコネクタに接続する。

ケーブルを差し込むときは、ケーブルの向きにご注意ください。

逆向きだと差し込めないようになっていますが、無理に差し込もうとすると、コネクタを破損する恐れがあります。コネクタを抜き差しする場合は、ピンが折れないようにコネクタをまっすぐにして行ってください。ピンが折れると正常に動作しません。

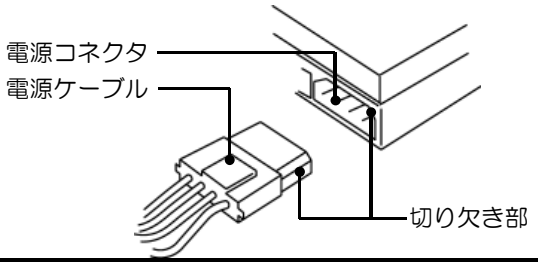
●IDEフラットケーブル

IDEフラットケーブルのコネクタの中央にある凸部が、IDEコネクタの切り欠き部と合うように挿入します。（中央の凸部がない場合は、赤い線とコネクタの1ピンの向きを合わせてください。）



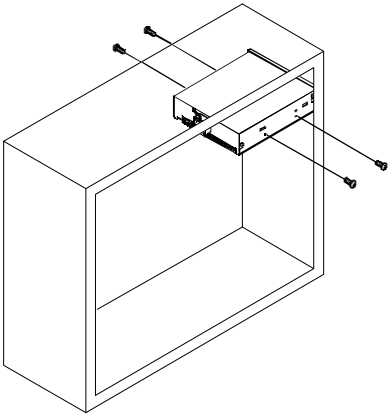
●電源ケーブル

電源ケーブルのコネクタの切り欠き部と、電源コネクタの切り欠き部が合うように挿入します。



5 添付の取り付けネジで本製品をとめます。

お使いの機種によって、ネジ穴の場所や数が異なります。
詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。



6 パソコンのルーフカバーを取り付け、手順 *1* で外したケーブルを元に戻します。

以上で、本製品の接続は終了です。次ページへお進みください。

3．インストール

本製品でDVD-RAM/Rドライブを使えるようにするためのドライバをインストールし、リージョン番号の設定をします。

●インストール前の確認

パソコンを起動して、[マイコンピュータ]を開き、CD-ROMのアイコンが追加されたことを確認してください。

追加されたアイコン

▼Windows XPの場合



▼Windows XP以外の場合



パソコンが起動しない場合	本製品の「マスタ」「スレーブ」設定をご確認ください。 10ページ
アイコンが追加されていない場合	●[表示]メニューの[最新の情報に更新]をクリックしてみてください。 ●ケーブルの接続が正しく行われていることをご確認ください。 （パソコンの電源を切り、再度ケーブルを抜き差ししてください。）

アイコンが追加されていることが確認できましたら、次ページへお進みください。

●インストール

1 DVD-RAM/Rドライブに「CD/DVD Proツールズコレクション」CD-ROMを挿入します。

※Windows XP、Windows 2000の場合は、管理者権限でログインしてください。

2 自動でメニューが表示されますので、DVD-RAMドライバのボタンをクリックします。

自動でメニューが表示されない場合は、CD-ROMの “autorun.exe” を起動してください。

3 あとは、画面の指示にしたがってください。

●インストール後の確認

Windows XPの場合

DVD-RAM/RドライブにDVD-RAMディスクをセットし、[マイコンピュータ]の[DVD-RAMドライブ]アイコンが右のように表示されることを確認してください。



Windows XP以外のOSの場合

[マイコンピュータ]を開き、[リムーバブルディスク]アイコンが追加されたことを確認してください。表示されない場合は、[表示]メニューから[最新の情報に更新]をクリックしてください。



DVD-RAMディスクを使用するときは、リムーバブルアイコン



DVD-RAM以外のディスクを使用するときは、CD-ROMアイコン



でそれぞれ認識されます。

確認できましたら、次ページへお進みください。

●ドライブのリージョン番号設定

本製品でDVDビデオなどを見るときのためにリージョン番号を設定します。
ここでは、リージョン番号を日本の番号である2に設定します。
（リージョン番号については x ページのコラムをご覧ください。）
リージョン番号を設定するには、リージョン番号が“2”である市販のDVDビデオディスクが必要です。

注意

添付のソフトウェアでは、リージョン番号の設定が５回までできますが、弊社では初回設定で日本のリージョン番号「２」にしたドライブのみを保証致します。それ以外の番号へ設定した場合や設定を変更した場合は、保証対象外となりますのでご注意ください。

1 [スタート]→[プログラム]→[DVD-RAM]→[DVD-RAMドライバー]→[DVDRgn]をクリックします。

画面が表示されます。

2 本製品にお手持ちのDVDビデオディスクをセットします。

セット方法については、21ページをご覧ください。
DVDビデオディスクは右のマークがついているものご用意ください。



3 ドライブを選択します。

[ドライブの選択]で[MATSHITA,DVD-RAM LF-D310]を選択します。

4 リージョン設定の「No.2」にチェックをつけます。

注意

「No.2」に設定できない！
→本製品に市販のリージョン番号２のDVDビデオディスクを入れてください。



5 [設定]ボタンをクリックします。

リージョン番号2に設定されます。

6 [終了]ボタンをクリックします。



以上でリージョン番号が設定できました。次ページへお進みください。

4．基本操作をおぼえる

ディスクの入れ方/出し方、DVD-RAMディスクのフォーマット方法、各ディスクへデータを書き込む方法をご確認ください。

●ディスクを入れる/出す

注意

- ディスクに異物が付いていないことを十分ご確認の上、入れてください。異物が付いたままだと、故障の原因となります。
- ディスクは確実にセットしてください。確実にセットしないと、ディスクが外れ傷つく恐れがあります。
- トレイを無理に引き出したり、押し込んだりしないでください。ドライブのローディング部が破損する恐れがあります。
- 12cmディスクを使うときは大きい円形のくぼみに、8cmディスクを使うときは小さい円形のくぼみに乗せてください。両ディスクを同時にトレイに乗せないでください。（縦置き時、12cmディスク以外は使用できません。）
- ドライブが傾いていないことを確認してから、ディスクを取り出してください。（ドライブが傾いた状態で取り出しを行うと、途中でディスクが内部に落下する恐れがあります。）

1 イジェクトボタンを押します。

自動的にトレイが出てきます。



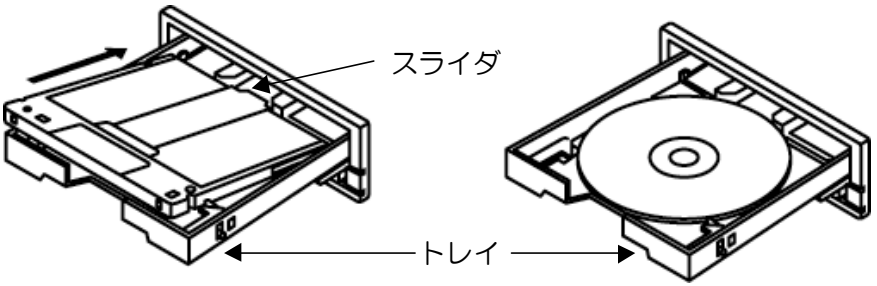
トレイが出てこない場合

【困った時には】をご覧ください。
42ページ

2 **≪ディスクを入れる≫**
ディスクのラベル面（イラスト面）を上にして、静かに置いてください。（DVD-RAMの場合は、ディスクでスライダを奥に軽く押しながら静かに置いてください。）

≪ディスクを出す≫
ディスクのラベル面の裏側（記録面）に触れないように、取り出してください。

▼DVD-RAMディスクの場合　　▼DVD-Rなどのディスクの場合



3 **イジェクトボタンを押すかトレイをかるく押します。**
自動的にトレイが戻ります。

注意

トレイはすみやかに入れてください。トレイが出た状態だと内部にゴミが入り、リード/ライトエラーまたは、故障の原因となる恐れがあります。

●DVD-RAMディスクをフォーマットする

本製品でDVD-RAMディスクにデータを記録するには、最初にフォーマットをして、DVD-RAMディスクを使用できる状態にする必要があります。
ここでは、インストールしたドライバを使用してのフォーマット方法を説明します。

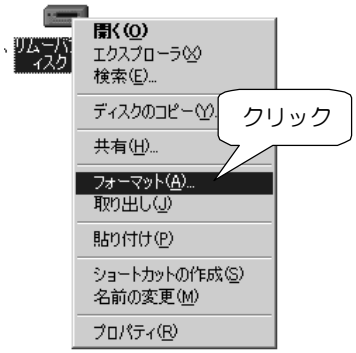
注意

《フォーマットを実行する際のご注意》
フォーマットを実行すると、ディスクに保存されているデータがすべて消去されます。必要に応じてバックアップをとることをおすすめします。

1 本製品にフォーマットしたいDVD-RAMディスクを挿入します。

2 [マイコンピュータ]をダブルクリックし、本製品のアイコンを右クリックします。
メニューが表示されます。

3 表示されたメニューから、[フォーマット]をクリックします。



4 [ドライブ指定]を選択します。

▼をクリックし、フォーマットしたいDVD-RAMディスクがセットされたドライブを選択します。

5 [フォーマット種別]を選択します。

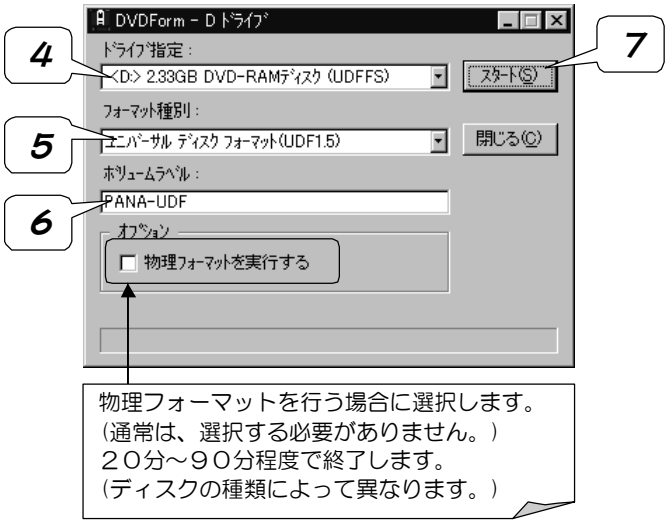
フォーマット形式を選択します。
詳しくは[スタート]→[プログラム]→[DVD-RAM]→[DVD-RAMドライバー]→[DVDFormヘルプ]をご覧ください。

6 [ボリュームラベル]を設定します。

ボリュームラベル名を設定します。
フォーマット種別でUDF形式を選択した場合、必ず入力して下さい。
入力しない場合、”PANA-UDF”が自動的に設定されます。

7 [スタート]ボタンをクリックします。

あとは画面の指示にしたがってください。



●ディスクにデータを書き込む

DVD-RAMディスクに書き込む場合とDVD-Rディスクに書き込む場合とで、書き込む方法が異なります。

DVD-RAMディスクに書き込む場合

1 DVD-RAM/Rドライブにフォーマット済みのDVD-RAMディスクを挿入します。

2 [マイコンピュータ]を開き、本製品のアイコンをダブルクリックします。

Windows XP以外のOSの場合は、[リムーバブル]アイコンを開きます。



挿入したDVD-RAMディスクにファイルが書き込まれている場合は、ファイル名が表示されます。このファイルはフロッピーディスクなどのファイルと同様に扱うことができます。

3 書き込みたいファイルをコピーします。

例えば、エクスプローラなどから書き込みたいファイルを本製品のアイコンにドラッグ＆ドロップすると、そのファイルがコピーされます。

DVD-Rディスクに書き込む場合

DVD-Rディスクにデータを書き込む場合は、本製品添付の「**B's Recorder GOLD**」をご使用ください。29ページ

●オリジナルDVDビデオを作る

オリジナルDVDビデオを作るには、専用のソフトウェアが必要になります。
本製品にはDVDビデオ作成・編集ソフトを添付しております。
DVD-RAMディスクとDVD-Rディスクで、使用するソフトウェアが異なります。

DVD-RAMディスクで作る場合

DVD-RAMディスク（VR形式）で作る場合、本製品添付の「**DVD MovieAlbum SE**」をご使用ください。37ページ

DVD-Rディスクで作る場合

DVD-Rディスクで作る場合は、本製品添付の「**Ulead MediaStudioPro 6 VE + GO DVD!**」をご使用ください。38ページ

使ってみよう

添付CD-ROMから目的に合わせてソフトを選び、インストールしましょう。
ここでは、添付ソフトの内容と注意事項を説明しています。
操作方法など、詳しくは各ソフトの取扱説明書をご覧ください。

CD-ROMの内容

添付CD-ROMの内容を説明します。
28ページ

データを記録する

DVD-Rディスクにデータを記録する際は、「B's Recorder GOLD」を使います。
29ページ

DVDビデオを見る

市販のDVDビデオなどを見る際は、「PowerDVD」を使います。
33ページ

オリジナルDVDビデオを作る

オリジナルDVDビデオを作る際は、「Ulead MediaStudioPro 6 VE」や「DVD MovieAlbum SE」を使います。
37ページ

CD-ROMの内容

DVD-RAM/Rドライブに添付のCD-ROMを入れると自動的に画面が表示されます。インストールしたいソフトウェアのボタンをクリックするとインストールがはじまります。（画面が自動で表示されない場合は、CD-ROMの “Autorun” を起動してください。）

●「CD/DVD Proツールズコレクション」CD-ROM

ソフト名称	目的
B's Recorder GOLD	DVD-Rディスクにデータを記録する 次ページをご覧ください。
PowerDVD™ VR-X	DVDビデオ見る 33ページをご覧ください。
Ulead PHOTOIMPACT 6 SE	静止画像を作る/編集する 38ページをご覧ください。
Ulead COOL 3D SE	3Dグラフィックを作る 38ページをご覧ください。
DVD-MovieAlbum SE	DVD-RAMディスクを使用してオリジナルDVDビデオを作る/編集する 37ページをご覧ください。
Adobe Acrobat	オンラインマニュアルを読む

●「DVD Proツールズコレクション」CD-ROM

ソフト名称	目的
MediaStudio Pro 6 VE	DVD-Rディスクを使用して、オリジナルDVDビデオを作る/編集する 38ページをご覧ください。
GoDVD!	VCD、SVCD、DVD形式のムービー作る 38ページをご覧ください。

データを記録する

DVD-Rディスクにデータを記録する場合は、「B's Recorder GOLD」を使用します。

B's Recorder GOLD

注意

《B's Recorder GOLD for Windowsを使用する際のご注意》

ここでは、B's Recorder GOLD for Windowsの使用方法については記述しておりません。使用方法については、別冊の「B's Recorder GOLD for Windowsクイックガイド」やCD-ROM内のオンラインマニュアルをご覧ください。（オンラインマニュアルはPDF形式になっています。）

●B's Recorder GOLDのオンラインマニュアル
B's Recorder GOLDをインストール後、[スタート]メニューの[B's Recorder GOLD]内に登録されます。

『B's Recorder GOLD for Windows』に関するお問い合わせは…

(株)ビー・エイチ・エーまでお問い合わせください。
50ページをご覧ください。

●インストールする

1 他のライティングソフトがインストールされている場合は、削除してください。また、CD-ROMドライブを高速化するソフトウェアがインストールされている場合も削除してください。

2 「CD/DVD Proツールズコレクション」CD-ROMをセットします。

※Windows XP、Windows 2000の場合は、管理者権限でログインしてください。

3 自動でメニューが表示されますので、
「**B's Recorder GOLD for Windows**」のボタンをクリックします。
自動でメニューが表示されない場合は、CD-ROMの“autorun”を起動してください。

4 あとは、画面の指示にしたがってインストールしてください。

※インストール中にシリアルナンバーを要求されたら、添付の「B's Recorder GOLDユーザー登録ハガキ」に印字されているシリアル番号（本製品のシリアルNo.とは異なります。）を入力してください。

注意

《削除（アンインストール）方法》
各ソフトウェアを使用しなくなった場合は、[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の[アプリケーションの追加と削除]で削除（アンインストール）を行ってください。

●起動する

[スタート]→[プログラム]→[B's Recorder GOLD]→[B's Recorder GOLD]をクリックすると起動します。

●書き込む

以下の【●注意事項】をご覧の上、本製品添付の「B's Recorder GOLD 補足マニュアル」、「B's Recorder GOLD クイックガイド」やヘルプなどを参照し、書き込みを行ってください。

●注意事項

・省電力機能を無効(オフ)にしてください。無効(オフ)にしないでディスクへの書き込みを行うと、書き込みに失敗する場合があります。

・一度でも書き込みに失敗したDVD-Rディスクは使用しないでください。正常に動作しない場合があります。

・いったん「B's Recorder GOLD for Windows」で書き込んだディスクに追記する場合は、必ず「B's Recorder GOLD for Windows」を使用してください。

・いったんハードディスクにデータを書き込んでから、DVD-Rディスクへ書き込む場合、書き込むファイルと同じサイズの空き容量がハードディスク上に必要です。

・本製品からオーディオキャプチャを行う際にノイズが発生する場合は、読み込み速度を落としてください。

・DVD-ROMドライブを読み込み元ドライブとして使用する場合の注意

B's Recorder GOLDが対応していないDVD-ROM※の場合は、読み込み元ドライブ（コピー元）としてご利用いただくことができません。
その場合は本製品を読み込み元ドライブとしてご利用ください。

※㈱ビー・エイチ・エーへ対応の有無をお問い合わせください。

・[HDDバックアップ機能について]
バックアップしたディスクを使用してHDDを元に戻すときは、本製品以外のMS-DOSで認識可能なCD-ROMドライブが必要です。

DVDビデオを見る

DVD-RAM/Rドライブを使用して、DVDビデオを見る場合は、「PowerDVD VR-X」を使用します。（以下、「PowerDVD」と呼びます。）

PowerDVD™ VR-X

DVDビデオを見るには、添付の「PowerDVD」などのDVDデコーダが必要です。
次ページで「PowerDVD」をインストールして、使ってみましょう。

注意

《PowerDVDを使用する際のご注意》

・本製品のリージョンコードは、初回“２”に設定し、以降リージョンコードを変更した場合は保証致しかねます。
・本製品添付のPowerDVDはドルビーヘッドホンに対応しておりません。

『PowerDVD』に関するお問い合わせは…

サイバーリンク㈱までお問い合わせください。51ページをご覧ください。

●「PowerDVD」をインストールする

Windows XPやWindows 2000で使う場合は、管理者権限でログインしてください。

1 使用中のアプリケーションやウィルス対策などの常駐プログラムがある場合は終了してください。

2 「CD/DVD Proツールズコレクション」CD-ROMを、本製品に挿入します。

→自動で画面が表示されます。
自動で画面が表示されない場合は、CD-ROMの「Autorun」を起動してください。

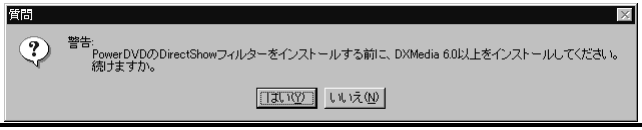
3 メニューから「Power DVD」のボタンをクリックします。

4 あとは画面の指示にしたがってください。

→CD-Key番号を入力するよう指示があったら、本書の表紙に記載している番号を入力してください。

注意

下記のメッセージが表示された場合、[はい]ボタンをクリックしてください。



インストールが終了すると、「システムテストプログラムを実行しますか？」と表示されますので、特に問題がなければ実行してください。

以上でインストールは終了です。

注意

《削除（アンインストール）方法》
PowerDVDを使用しなくなった時に実行してください。
[コントロールパネル]の[アプリケーションの追加と削除]を選択し、アンインストールしてください。

●DVDビデオを再生する

PowerDVDをインストール後に再生できます。

本製品にお手持ちのDVDビデオを挿入すると、自動的に再生されます。

再生できない！

上記の方法で再生できない場合は以下をお試しください。

①[スタート]→[プログラム]→[CyberLink PowerDVD VR-X]→[PowerDVD VR-X]をクリックします。

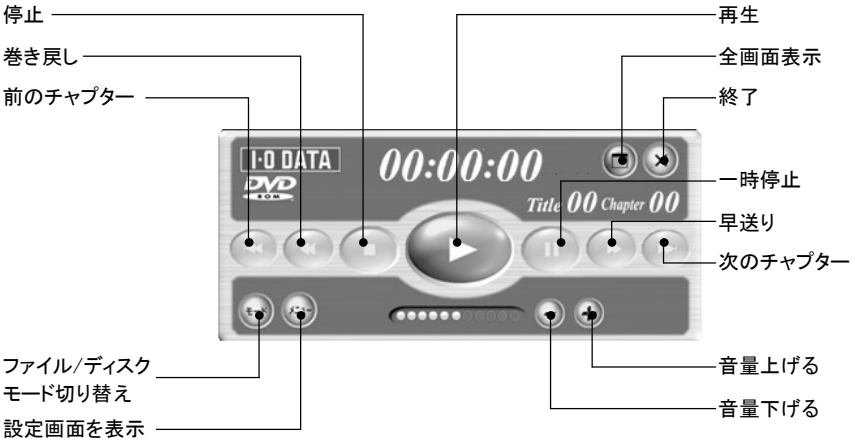
②表示された画面の[モード]ボタンをクリックして、画面右上に「ディスクモード」と表示させてください。

③[再生]ボタンをクリックすると再生できます。



●操作パネル

操作パネル各ボタンの役割です。



ヘルプを見る方法

（詳しい操作方法はヘルプをご覧ください。ヘルプの内容は、以下の方法で操作パネルを変更したときの内容です。）

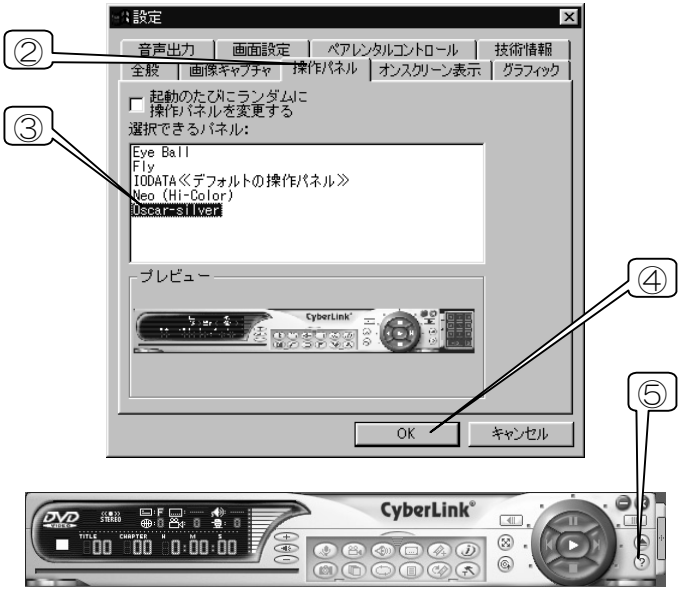
①  [メニュー]ボタンをクリックします。

②設定画面の[操作パネル]をクリックします。

③選択できるパネルから[Oscar-silver]を選択します。

④[OK]ボタンをクリックします。

⑤変更された操作パネルの[ヘルプ]ボタンをクリックすると、ヘルプが表示されます。



オリジナルDVDビデオを作る

DVD-RAM/Rドライブを使用して、オリジナルのDVDビデオを作る場合は、「DVD-MovieAlbum SE」または「Ulead製品（「MediaStudioPro 6 VE + GO DVD!」「PhotoImpact SE」「COOL 3D SE」）」を使用します。

●用途に合わせて…

- DVD-RAMディスクを使用して、オリジナルDVDビデオを作る場合は、**DVD-MovieAlbum SE**をご使用ください。
- DVD-Rディスクを使用して、オリジナルDVDビデオを作る場合は、**「MediaStudioPro 6 VE ＋ GO DVD!」**をご使用ください。

次ページ

- その他ユーティリティソフト**「PhotoImpact SE」（静止画編集ソフト）や「COOL 3D SE」（3Dタイトル作成ソフト）**を組み合わせてご使用ください。

次ページ

DVD-MovieAlbum SE

注意

ここでは、各ソフトの使用方法については記述しておりません。使用方法については、オンラインマニュアルをご覧ください。（オンラインマニュアルはPDF形式になっています。）

●DVD-MovieAlbum SEのオンラインマニュアル
インストール後に、スタートメニューの[Panasnic]→[DVD-Movie Album SE]に登録されます。

●インストール方法

1. 「CD/DVD Proツールズコレクション」CD-ROMをセットします。
   ※Windows XP、Windows 2000の場合は、管理者権限でログインしてください。
2. 自動でメニューが表示されますので、「DVD MovieAlbum SE」のボタンをクリックします。
   自動でメニューが表示されない場合は、CD-ROMの “autorun.exe” を起動してください。
3. あとは画面の指示にしたがってインストールします。

Ulead製品
(MediaStudio Pro 6 VE + GO DVD!、PhotoImpact 6 SE、COOL 3D SE)

注意

ここでは、各ソフトの使用方法については記述しておりません。使用方法については、別冊のMediaStudio Pro取扱説明書やオンラインマニュアルをご覧ください。（オンラインマニュアルはPDF形式になっています。）

●GO DVD!についての注意
- GO DVD!はMediaSutudioPro 6 VEをインストールすると同時にインストールされます。
- GO DVD!は、MediaSutudioPro 6 VE内VideoEditerの[ファイル]メニュー→[エクスポート]から起動してください。

●MediaStudio Pro 6 VEのオンラインマニュアル
[DVD Pro ツールズコレクション]CD-ROM内の[MSP6PUPK¥Manual]フォルダをご覧ください。

●PhotoImpact SEのオンラインマニュアル
[CD/DVD Pro ツールズコレクション]CD-ROM内の[Pi6_se¥Document¥manual]フォルダをご覧ください。

●COOL 3D SEのオンラインマニュアル
[CD/DVD Pro ツールズコレクション]CD-ROM内の[C3d3se¥Manual]フォルダをご覧ください。

●インストール方法

1 ・「**MediaStudioPro 6 VE + GO DVD!」の場合**
「DVD Proツールズコレクション」CD-ROMをセットします。
・**「PhotoImpact SE」「COOL 3D SE」の場合**
「CD/DVD Proツールズコレクション」CD-ROMをセットします。
※Windows XP、Windows 2000の場合は、管理者権限でログインしてください。

2 自動でメニューが表示されますので、インストールしたいソフトウェアのボタンをクリックします。
自動でメニューが表示されない場合は、CD-ROMの “autorun.exe” を起動してください。

3 あとは画面の指示にしたがってインストールします。

Ulead製品に関するお問い合わせは… → **ユーリード㈱までお問い合わせください。** **52ページをご覧ください。**

付録

必要に応じてお読みください。

困った時には

トラブルが起こったときにご覧ください。

40ページ

別売オプション品

別売オプション品を紹介します。

48ページ

仕様

本製品の仕様です。

49ページ

困った時には

本製品を使用していて異常があった場合にご覧ください。



添付ソフトのトラブルについては、各ユーザーズマニュアルやヘルプをご覧ください。

状態	参照ページ
本製品のCD-ROMアイコンがマイコンピュータに表示されない	４１
DVD-RAMディスクが認識されない	４２
ディスクが取り出せない	４２
ランプが点灯しない	４４
音が聞こえない	４４
DVDビデオが再生できない	４７
書き込みに失敗する	４７

本製品のCD-ROMアイコンがマイコンピュータに表示されない

原因１	スイッチの設定やケーブルの接続が正しく行われていない。
対処	10ページ以降を参照して、再度取り付けを行ってみてください。

原因２	本製品を接続しているIDEコントローラが正しく認識されていない。 Windows Me/98の場合 [マイコンピュータ]を右クリックして表示されたメニューから[プロパティ]をクリックし、[デバイスマネージャ]タブの「ハードディスクコントローラ」に登録されているIDEコントローラに“!”マークが付いている場合があります。 Windows XP、Windows 2000の場合 [マイコンピュータ]を右クリックして表示されたメニューから[プロパティ]をクリックし、[ハードウェア]タブ→[デバイスマネージャ]ボタンをクリックし、「ハードディスクコントローラ」に登録されているIDEコントローラに“!”マークが付いている場合があります。
対処	競合しているリソースを正しく設定してください。（設定方法についてはご使用のパソコン本体メーカーにお問い合わせください。）

原因３	ドライブ番号が正しくない。（Windows Me/98の場合のみ）
対処	①[マイコンピュータ]を右クリックして表示されたメニューから[プロパティ]をクリックします。 ②[デバイスマネージャ]タブで、「CD-ROM」-「MATSHITA DVDRAM LF-D310」を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックします。 ③[設定]タブの「予約ドライブ文字」を確認してください。次ページの「●ドライブ番号の予約」を参照してください。

原因4	PC98-NXシリーズで、セカンダリスレーブで接続している。
対処	プライマリスレーブかセカンダリマスタで接続してください。

原因5	他の機器との競合がある。
対処	すでにパソコンにCD-RWドライブやDVD-RAMドライブなどが取り付けられている場合は取り外したり、それらに添付のソフトウェアがインストールされている場合は削除したりすることで改善されることがあります。

●ドライブ番号の予約

①[マイコンピュータ]を右クリックして表示されたメニューから[プロパティ]をクリックします。
②[デバイスマネージャ]タブで[CD-ROM]をダブルクリックし、各CD-ROMドライブを選択して、[プロパティ]ボタンをクリックします。
③[設定]タブ→[予約ドライブ文字]でドライブ番号を予約してください。

▼画面例（Windows 98の場合）



DVD-RAMディスクが認識されない

原因	ドライバをインストールしていない
対処	ドライバをインストールしてください。17ページ

ディスクが取り出せない

原因1	使用中のアプリケーションで取り出し禁止している。
対処	使用中のアプリケーションを終了後にイジェクトボタンを押してください。

原因2 トレイに何かが引っ掛かっている。

対処

以下の方法で、取り出してください。

- **以下の操作は、あくまで緊急のための操作です。むやみにご使用になると故障の原因となります。**
- **以下の操作は、ドライブおよびパソコン本体の電源をOFFにした状態で行ってください。**
- **ドライブが傾いていないことを確認してから、ディスクを取り出してください。（ドライブが傾いた状態で取り出しを行うと、途中でディスクがドライブ内に落下する恐れがあります。）**
- **以下の方法で取り出せなかった場合は、無理に引き出さず弊社修理係にご依頼ください。**

必要なもの…太さ1.3㎜程度、長さ55㎜以上（指で持つ部分を除く）の針金1本。大きめのペーパークリップを伸ばしても使用する事ができます。

①パソコンの電源を切ります。

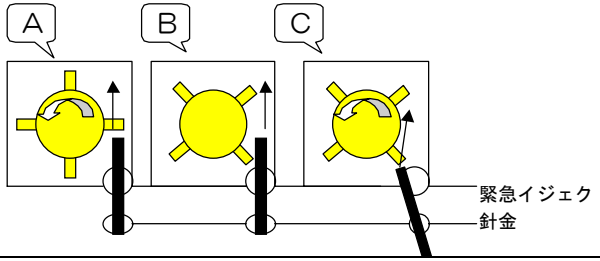
②緊急イジェクトホールに針金を３～４回差し込みます。

③トレイを手で引き出し、ディスクを取り出します。

→ディスクを取り出した後、トレイを押し戻してください。

※本製品は、緊急イジェクトホール内部が回転することによりトレイが出る仕組みになっています。（下図“A”）
上記の取り出し方法で取り出せない場合は、以下の“B”の状態であることが考えられます。この場合は、“C”のように針金を傾けて差し込み、内部が回転するようにしてください。

▼緊急イジェクトホール付近内部を上から見た図



ランプが点灯しない

原因１	ディスクが正しく入っていない。
対処	ディスクが正しく入っていることを確認してください。
原因２	ケーブルが正しく接続されていない。
対処	各ケーブルの接続を確認してください。

音が聞こえない

原因１	ディスクが正しく入っていない。
対処	ディスクが正しく入っていることを確認してください。
原因２	ディスクが変形/破損していたり、汚れている。
対処	変形/破損しているディスクは使用しないでください。また、汚れがある場合は汚れを取り除いてください。
原因３	音声データが入っていないディスクを入れている。
対処	音声データが入っているディスクを使用してください。
原因４	ケーブルが正しく接続されていない。（アナログ再生）
対処	14ページのコラムをご覧になり、接続をご確認ください。
原因５	パソコンまたはOSが「デジタルオーディオ機能」に対応していない。（デジタル再生）
対処	次ページのコラムをご覧になり、「デジタルオーディオ機能」に対応しているかをご確認ください。

原因6	音声ボリュームが「0」に設定されている。（Winodws Me/98）
対処	①タスクバー上のスピーカアイコンをダブルクリックします。 ②[オプション]→[プロパティ]をクリックし、[表示するコントロール]で[ライン入力]にチェックを入れます。 ③[OK]ボタンをクリックし、[ライン入力]の[選択]にチェックを入れます。または、ライン入力の[ミュート]のチェックを外します。 ④ボリュームを調節します。 ⑤ウィンドウ右上の[ｘ]ボタンをクリックし、設定ウィンドウを終了します。



音楽CDとDVDビデオの音声について

音楽CDとDVDビデオの音声出力の方法は以下のようになります。

・***音楽CD***

通常はアナログのオーディオケーブルで接続します。

「デジタルオーディオ機能」を有効にすると、音声はデータとして扱われるため、オーディオケーブルの接続は不要になります。（デジタルオーディオ機能を有効にした場合は、アナログ信号は出力されません。また、音飛びが発生する可能性があります。）

・***DVDビデオ***

映像も音声もデータとして送信されるため、オーディオケーブルの接続は不要です。音声はパソコン本体のスピーカーから出力されます。（アナログ信号は出力されません。）

デジタルオーディオ機能の設定

デジタルオーディオ機能に対応しているかどうかは、次ページの方法で確認してください。デジタルオーディオ機能に対応していない場合は、14ページのコラムをご覧ください。

コラム

●Windows XPの場合

①[スタート]→[マイコンピュータ]内の[システム情報を表示する]をクリックします。
②[ハードウェア]タブの[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。
③[DVD/CD-ROMドライブ]をダブルクリックして表示された[MATSHITA DVDRAM LF-D310]を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。
④[プロパティ]タブに[このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする]という表示があることをご確認ください。
⑤チェックすることが可能な場合は、チェックをつけます。
チェックできない場合は、デジタルオーディオ機能に対応していません。

●Windows Meの場合

①[マイコンピュータ]アイコンを右クリックして、[プロパティ]をクリックします。
②[デバイスマネージャ]タブをクリックし、[CD-ROM]をダブルクリックして表示された[MATSHITA DVDRAM LF-D310]をダブルクリックします。
③[プロパティ]タブをクリックし、[このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする]という表示があることをご確認ください。
④チェックすることが可能な場合は、チェックをつけます。
チェックできない場合は、デジタルオーディオ機能に対応していません。

●Windows 98の場合

①[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]内の[マルチメディア]アイコンをダブルクリックします。
②[音楽CD]タブをクリックします。
③[このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする]という表示があることをご確認ください。
④チェックすることが可能な場合は、チェックをつけます。
チェックできない場合は、デジタルオーディオ機能に対応していません。

●Windows 2000の場合

①[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]内の[システム]アイコンをダブルクリックします。
②[ハードウェア]タブをクリックします。
③[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。
④[DVD/CD-ROMドライブ]をダブルクリックして表示された[MATSHITA DVDRAM LF-D310]を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。
⑤[このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする]という表示があることをご確認ください。
⑥チェックすることが可能な場合は、チェックをつけます。
チェックできない場合は、デジタルオーディオ機能に対応していません。

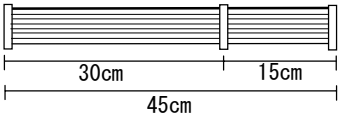
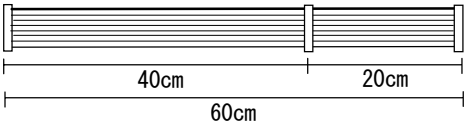
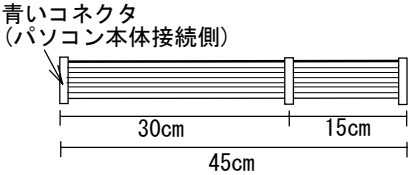
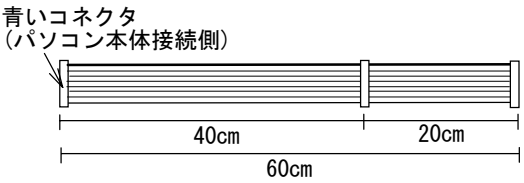
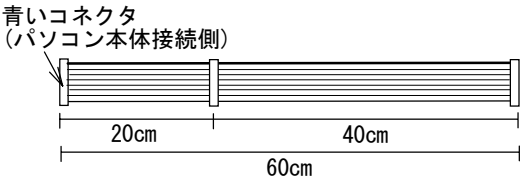
DVDビデオが再生できない

原因１	DVDプレーヤーがインストールされていない。
対処	本製品添付の「PowerDVD」をインストールしてください。
原因２	DVD-RAM/Rドライブのリージョン番号を設定していない。
対処	本製品のリージョン番号を設定してください。19ページ
原因３	リージョン番号が２またはALL以外のディスクを使用している。
対処	リージョン番号が２またはALLのディスクを使用してください。

書き込みに失敗する

原因１	推奨ディスクを使用していない。
対処	7ページの推奨ディスクをご使用ください。
原因２	読み込み元に使用できないDVD-ROMドライブを使用している。
対処	32ページの【DVD-ROMドライブを読み込み元ドライブとして使用する場合の注意】をご覧ください。
原因３	Windows Me/98で使用していて、「ハードディスクの電源を切る」がONになっている。
対処	①[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]から[電源の管理]を起動します。 ②[ハードディスクの電源を切る]を[なし]にしてください。

別売オプション品

型番	長さ	タイプ
FL-I40 ※1	45cm	Ultra ATA/33対応IDEフラットケーブル 
FL-I40-L ※1	60cm	Ultra ATA/33対応IDEフラットケーブル 
FL-I40H ※2	45cm	Ultra ATA/100/66対応IDEフラットケーブル 
FL-I40H-L ※2	60cm	Ultra ATA/100/66対応IDEフラットケーブル 
FL-I40H-L2 ※2	60cm	Ultra ATA/100/66対応IDEフラットケーブル 

※1 Ultra ATA/100/66に対応したパソコンやインターフェイスボードには非対応
※2 Ultra ATA/33やその他の転送方式に対応した機器やパソコンとインターフェイスボードでも使用できます。

仕様

インターフェイス仕様	E-IDE（ATAPI-5）
設置条件	設置方向：水平、垂直（垂直は12cmディスクのみ対応）
ディスクローディング方式	トレイタイプ　オートローディング
データバッファサイズ	1MB
最大データ転送速度	33.3MB/Sec.（Ultra DMA Mode2）
書き込み/読み出し速度	書き込み速度 DVD-RAM： 2倍速 DVD-R　： 1倍速 読み出し速度 DVD-ROM： 6倍速 CD-ROM　：24倍速
平均シークタイム	80ms（DVD-RAM） 75ms（DVD-ROM） 75ms（CD-ROM）
適合フォーマット	・書き込み/読み出し DVD-RAM（4.7/9.4GB Type1,2,4） DVD-R（4.7GB for General Ver2.0） ・読み出しのみ DVD-ROM、DVDビデオ、 DVD-R（3.95、4.7GB for Authoring）、 CD-ROM（mode1、mode2）、CD-ROM XA、CD-R/RW CD-DA（Audio CD）、Photo-CD、CD-Extra、Video CD
アナログライン出力	0.8Vrms（47KΩ）
電源仕様	DC +5V±5% DC +12V±10%
最大消費電流	+5V：0.5A +12V：0.7A
動作温度	+5℃～+35℃（パソコンの動作する温度範囲であること）
動作湿度	20%～80%（結露なきこと）
外形寸法	146.0(W)×196.0(D)×41.3(H)mm（フロントパネル含まず）
質量	約1.1kg

お問い合わせ先

B's Recorder GOLD for Windows

「B's Recorder GOLD for Windows」
に関するお問い合わせ

●お問い合わせ先
株式会社ビー・エイチ・エー　サポートセンター
TEL　06-4861-8234
受付時間　10:00～17:00　月～金曜日
（夏期・年末年始特定休業日、祝祭日を除く）
FAX　06-6378-3336
インターネット http://www.bha.co.jp/

注意

「㈱ビー・エイチ・エー製 B's Recorder GOLD for Windows」のサポート、バージョンアップサービスは弊社では行っておりません。
バージョンアップをご希望される場合は以下の方法でユーザー登録を行った後、㈱ビー・エイチ・エーにご確認ください。

㈱ビー・エイチ・エーユーザー登録
（B's Recorder GOLD for Windows用）

B's Recorder GOLD「ユーザー登録ハガキ」に必要な事項をご記入の上、㈱ビー・エイチ・エーまでご返送ください。

注意

「B's Recorder GOLD ユーザー登録ハガキ」のお客様控えの部分は大切に保管してください。
「B's Recorder GOLD」をインストールするときに必要なシリアル番号が印字されています。

PowerDVD

「PowerDVD」のお問い合わせ

●お問い合わせ先　　サイバーリンク株式会社

ユーザーサポートページURL	**http://www.cli.co.jp/support/**
E-mail	**support@cli.co.jp**
TEL	**03-3662-8076**
FAX	**03-3662-8009**
受付時間	**10:00～13:00、14:00～17:00**
	月～金曜日(祝祭日を除く)

インターネット環境をお持ちでない方は、下記の必要事項をご記入、もしくはご確認いただき、サイバーリンク㈱までFAXまたはTELにてお問い合わせください。

▼必要事項

1. 記入日
2. 氏名（ユーザー登録名）
3. TEL番号
4. FAX番号
5. 住所
6. 製品名およびソフトウェアのバージョン
7. CD-Key番号（本書の表紙に記載しています。）
8. お使いのＰＣ環境
   - ・OS環境（メーカー名、製品名およびバージョン）
   - ・パソコン（CPU（例：Pentium Ⅲ 500）およびメモリ容量）
   - ・ハードウェア構成（メーカー名、製品名）
   - ・DVDドライブ（例：I-O DATA製、DVDRR-AB4.7）

サイバーリンク㈱ ユーザー登録（PowerDVD用）

- **オンライン登録**
  ユーザー登録ページ　　**http://regist.cli.co.jp/**
- **インターネット環境が無い場合**
  上記の【必要事項】をご記入いただき、サイバーリンク㈱まで、FAXでお送りください。

Ulead MediaStudioPro 6 VE, GoDVD!, PhotoImpact SE, COOL3D SE

「Ulead MediaStudioPro6 VE, GoDVD!, PhotoImpact SE, COOL3D SE」に関する問い合わせ

●お問い合わせ先

ユーリードシステムズ株式会社

TEL	**03-5491-5662**
受付時間	**10:00～12:00 13:00～17:00(土日祝祭日除く)**
FAX	**03-5491-5663**
インターネット	**http://www.ulead.co.jp/**
E-mail	**support@ulead.co.jp**

注意

ユーリード社製バンドル版ソフトウェア製品のユーザーサポート（テクニカルサポート、アップグレードサポート等）をお受けになる際には、ユーザー登録が必要となります。（ユーザー登録をされていない場合、サポートをお断りする場合もございます。ご了承ください。）

ユーリードシステムズ㈱ユーザー登録（Ulead製品 用）

「Ulead製品ユーザー登録ハガキ」に必要な事項をご記入の上、
ユーリードシステムズ㈱までご返送ください。

注意

「Ulead製品ユーザー登録ハガキ」のお客様控えの部分は大切に保管してください。
Ulead製品をインストールするときに必要なシリアル番号が印字されています。

DVD-RAM/Rドライブ

お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及びFAX番号
2. ご使用の弊社製品名。
3. ご使用のサポートソフトのバージョン。
4. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
5. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
6. 現在の状態(「マイコンピュータにCD-ROMアイコンが表示されない」などの内容)。

オンライン

インターネット　**http://www.iodata.co.jp/support/**
「サポートセンターお問い合わせ」内のフォームを
使用してE-mailをお送りください。

郵便

住所　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「DVDRR-AB4.7」係　宛

電話-FAX

電話番号	**本社　076-260-3367　東京　03-3254-0340**
電話受け付け時間	**9:30～19:00　月～金曜日(祝祭日を除く)**
FAX番号	**本社　076-260-3360　東京　03-3254-9055**

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。予めご了承ください。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。

オンライン

サポートライブラリ　　**http://www.iodata.jp/lib/**

サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。（送料及び手数料はお客様負担）

住所　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「DVDRR-AB4.7」　サービス窓口　宛
電話番号　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00　月～金曜日（祝祭日を除く）

ご注意

●オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
●添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。

修理について

修理の前に

故障かな？と思ったときは、
①本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。
②弊社サポートセンターへお問い合わせください。
（【サポートセンターへのお問い合わせ】をご覧ください）

明らかに故障の場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●内部のデータについて

・検査の際には、内部のデータはすべて消去されてしまいます。
（厳密な検査を行うためです。どうぞご了承ください。）
※データに関しては、弊社はいっさいの責任を負いかねます。
バックアップできる場合は、修理にお出しになる前にバックアップしてください。
・弊社では、データの修復は行っておりません。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無償にて修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有償となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。
・保証期間が終了した場合は、有償にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
・お送りいただいた後、有償修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、ハードウェアシリアルNO.、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）
　※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。
・下の内容を書いたもの
　返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］,日中にご連絡できるお電話番号,
　ご使用環境（機器構成、OSなど）,故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。
　※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。
　※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理係　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。
　※ただし、有償の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。
・修理品の返送日については以下の窓口にお問い合わせください。

●サービス窓口

お問い合わせの際は、ご依頼の際にメモに控えた内容をお伝えください。

電話番号　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

DVDRR-AB4.7 取扱説明書
2001.Dec.04 98805-02
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2001 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

「B's Recorder GOLD for Windows」
に関するお問い合わせ

●お問い合わせ先
株式会社ビー・エイチ・エー　サポートセンター
TEL　06-4861-8234
受付時間　10:00～17:00　月～金曜日
（夏期・年末年始特定休業日、祝祭日を除く）
FAX　06-6378-3336
インターネット　http://www.bha.co.jp/support/index.html

「PowerDVD」のお問い合わせ

●お問い合わせ先　サイバーリンク株式会社
ユーザーサポートページURL　http://www.cli.co.jp/support/
E-mail　support@cli.co.jp
TEL　03-3662-8076
FAX　03-3662-8009
受付時間　10:00～13:00、14:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

「Ulead MediaStudioPro6 VE, GoDVD!, PhotoImpact SE,
COOL3D SE」に関する問い合わせ

●お問い合わせ先
ユーリードシステムズ株式会社
TEL　03-5491-5662
受付時間　10:00～12:00 13:00～17:00（土日祝祭日除く）
FAX　03-5491-5663
インターネット　http://www.ulead.co.jp/
E-mail　support@ulead.co.jp